



平成30年4月26日

各位

会社名 日本精線株式会社
代表者 代表取締役社長 新貝 元
(コード番号 5659 東証第一部)
問合せ先: 取締役執行役員経営企画部長兼
経理部長 秋田 康明
(TEL 06-6222-5432)
当社の親会社 大同特殊鋼株式会社
代表者名 代表取締役社長 石黒 武
(コード番号 5471 東証・名証第一部)

通期個別業績の前期決算値との差異に関するお知らせ

平成30年3月期(平成29年4月1日～平成30年3月31日)の通期個別業績の前期決算値との差異について下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 通期個別業績の差異

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績(A) (平成29年3月期)	百万円 30,415	百万円 2,446	百万円 2,397	百万円 1,665	円 銭 271.44
当期実績(B) (平成30年3月期)	35,207	3,708	3,705	2,562	417.80
増減額(B-A)	4,791	1,262	1,307	897	146.36
増減率(%)	15.8	51.6	54.5	53.9	53.9

(注) 当社は、平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり当期純利益」を算定しております。

2. 差異の理由

平成30年3月期において、売上高は主力のステンレス鋼線部門が販売数量の増加に加えニッケル価格変動に伴う販売価格引き上げ効果などにより前期比増収となり、金属繊維部門もナスロンフィルター及び超精密ガスフィルター(ナスクリーン)が好調に推移して前期比増収となった結果、当期の売上高は352億7百万円(前期比15.8%増)と過去最高となりました。損益につきましても販売数量の増加に伴う工場操業度の改善などにより営業利益37億8百万円(同51.6%増)、経常利益37億5百万円(同54.5%増)、当期純利益25億62百万円(同53.9%増)と何れも過去最高益を更新いたしました。

以上